

ミハル通信が「LIVE EVENT」に出展

22・2cchマイク集音「ELLマイクロフォン」

ミハル通信は、1月21日 市美浜区で開催した、ラ EXPOとイベント総合E 23日に幕張メッセ（千葉 イブ・エンターテイメント XPOの2展から構成され



「ELLマイクロフォン」 パラソル型タイプ



「ELLマイクロフォン」 吊り下げ型タイプ

た総合展示会「LIVE EVENT」（ライベント）音響機器ラウンジコーナーに出展した。リモートプロダクションや中継素材伝送に対応した2K/4K HEVCリアルタイムコーデック「ELL Lite」と、22・2cchマイク集音に対応した「ELLマイクロフォン」を展示した。

「ELLマイクロフォン」は、22・2cchマイク集音に対応した試作機。ELL Liteと組み合わせることで、22・2cchマイク集音を構築できる。従来のような大量のマイク設置は不要で、視界を遮らないコンパクト設計となっている。具体的には、「ELLマイクロフォン」は、22・2cchマイク新基準の「空間ごと録る気配まで持ち帰る」がポイントだ。

特長は次の通り。
▽22chのマイクを搭載。周囲の音場を高密度に集音する▽Dante出力でプロ現場に直結▽ELL Soundyardでイマージング音響空間として再現可能▽LANケーブル1本でDante出力。PoE給電・音量調整まで完結する。

吊り下げ型タイプは、スタジオ・ホール・劇場向け。空間全体の音場を立体的に収録できる、唯一無二の集音形態となっている。寸法は直径750mm（マイク部分含む）、アーム長は標準タイプ。質量は5.0kg。

通常LANでしか使えない、LANでしか伝送できないのですが、当社の装置はそれをフレッツなどの公衆回線を通してリモート、遠隔地まで飛ばすことができます」と説明した。

ブース来場者の評価について「まず視覚的にももしろいとマイクに目が行って『これ何ですか』から始めて、注目していただけた。その後、伝送装置の話をする、皆さん音響のフロアですから、Danteを通すことができることに驚かれています。そういった反応が多く見られました。マイクに関しては、ホールなどを設計されている建築、ゼネコン関係の方も結構興味を持っていたので、新しく設計するホールに使ってみたいとの声もありました」と話した。

ミハル通信技術統括本部 ネットワーク事業推進部では「今回の展示は、非圧縮は、オーディオ・オーバーIPという、音声をIPで伝送する規格ですが、これ